

白鳳丸共同利用研究航海報告書

- * 航海番号 KH-24-1次研究航海
- * 航海名称 (和文) シャツキーライズの地形と水塊構造：太平洋遠洋域の”Topographic high”における底層流と過去50 万年間の栄養塩供給機構の描像
(英文) Geometry and water mass structure at the Shatsky Rise: Illuminating bottom current and nutrient supply system over the last 500 kyrs around "Topographic high" in the pelagic realm of the Pacific Ocean
- * 観測海域 (和文) シャツキーライズ (Tamu Massif) 南西部斜面
(英文) Southwestern flank of Shatsky Rise (Tamu Massif)
- * 航海期間 令和 6 年 4月 2日 (火) ~令和 6 年 4月 19日 (金)
- * 出港日時・場所 4月 2日 14時30分 東京港
- * 入港日時・場所 4月 19日 11時 東京港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 研究課題 (和文) シャツキーライズの地形と水塊構造：太平洋遠洋域の” Topographic high” における底層流と過去50 万年間の栄養塩供給機構の描像
(英文) Geometry and water mass structure at the Shatsky Rise: Illuminating bottom current and nutrient supply system over the last 500 kyrs around “Topographic high” in the pelagic realm of the Pacific Ocean
- * 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@) 田中えりか・高知大学海洋コア国際研究所・助教・erikat@kochi-u.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者 (e-mail アドレス), 観測項目
 1. CTD 観測・採水によるシャツキーライズ (Tamu Massif) 南西部斜面における現在の栄養塩と乱流の分布に関する研究、田中えりか・高知大学海洋コア国際研究所・助教、erikat@kochi-u.ac.jp
 2. シャツキーライズ (Tamu Massif) 南西部の海底堆積物を用いた過去の堆積環境の変化についての研究、黒田潤一郎・東京大学大気海洋研究所・准教授 (kuroda@aori.u-tokyo.ac.jp)、安川和孝・東京大学工学系研究科・准教授 (k-yasukawa@sys.t.u-tokyo.ac.jp)、臼井洋一・金沢大学・准教授 (usui-yoichi@se.kanazawa-u.ac.jp)
 3. 物理観測によるシャツキーライズ (Tamu Massif) 南西部の海底面下の構造調査、朴進午・東京大学大気海洋研究所・准教授 (jopark@aori.u-tokyo.ac.jp)

* 乗船研究者氏名・所属・職名

田中えりか・高知大学海洋コア国際研究所・助教
黒田潤一郎・東京大学大気海洋研究所・准教授
安川和孝・東京大学工学系研究科・准教授
朴進午・東京大学大気海洋研究所・准教授
亀尾桂・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員
戸田亮二・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員
飯島耕一・海洋研究開発機構海洋機能利用部門・准研究副主任
臼井洋一・金沢大学理工研究域・准教授
桑原佑典・東京大学工学系研究科・特任助教
小笠原光基・東京大学工学系研究科・大学院生
池津雄地・東京大学工学系研究科・大学院生
伊地知遼行・東京大学工学系研究科・大学院生
畠山裕亮・東京大学工学系研究科・大学院生
孫岳・東京大学大気海洋研究所・大学院生
于凡・東京大学大気海洋研究所・大学院生
呂玉琪・東京大学大気海洋研究所・大学院生
山川登・東京大学大気海洋研究所・大学院生
趙陽・東京大学大気海洋研究所・研究生
中川友紀・東京大学理学系研究科・大学院生
吉住勇輝・高知大学農林海洋科学部・学部生
磯田龍之介・金沢大学理工学域・学部生
卯田寿里・千葉大学大学院融合理工学府・大学院生
本多楓太・千葉大学大学院融合理工学府・大学院生
伊藤颯矢・千葉大学大学院融合理工学府・大学院生
堀内禎希・日本海洋事業・観測技術員
澤田律子・マリンワークジャパン・観測技術員
中尾真子・MOLMEC・観測技術員

* 航跡・測点図

KH-24-1

